

そうがまえ
「金沢城惣構跡」と「鞍月用水・大野庄用水」を
巡る藩政時代の城下町周遊コース

SDGs の開発目標



安土桃山から江戸時代初頭に金沢城を守るため、防衛施設として造られた「惣構跡(堀と土を盛り上げた土手)」堀の大部分は幅を縮小しながらも鞍月用水・大野庄用水の一部として、今も市民の生活と密接に関わっています。街中に色濃く残る藩政時代の遺構群を巡り、あなたも約 420 年前の金沢城下の街へタイムスリップしてみませんか。

金沢駅東口③・⑧～⑪番のりば すべてのバス

↓(北鉄バス9分 210円)

香林坊停留所

↓(5分)

「鞍月用水」・「西外惣構跡(香林坊2丁目街園)」

↓(4分)

「大野庄用水」・「長町武家屋敷跡」

↓(4分)

中央小学校停留所

↓(金沢ふらっとバス 3分 100円)

玉川町停留所

↓(4分)

西外惣構跡升形遺構

↓(5分)

武蔵ヶ辻・近江町市場停留所(いちば館前)

↓(北鉄バス 2分 210円)

南町・尾山神社停留所

↓(2分)

「尾山神社」・「西内惣構跡(尾山神社前・神社南側)」

↓(1分)

金沢城公園鼠多門口

↓

金沢城公園

↓

金沢城公園石川門口

↓(5分)

兼六園下・金沢城停留所(北鉄車庫前)

↓(北鉄バス 1分 210円)または↓(2分)

小将町停留所

↓(3分)

東外惣構跡(東兼六町)

↓(3分)

賢坂辻停留所

↓(金沢ふらっとバス 7分 100円)

梅ノ橋停留所

↓(3分)

ひがし茶屋街・主計町茶屋街

↓(4分)

東内惣構跡枯木橋南遺構

↓(1分)

橋場町停留所(金城樓向い)

↓(北鉄バス 15分 210円)

金沢駅

そうがまえ
金沢城惣構跡とは？

「惣構」とは、城下町を囲むように築かれた堀や土居(土を盛り上げた土手)などのことで、金沢城には内・外二重の惣構が造られました。

お城だけではなく、田畑を含む城下町の大部分を取り囲むことで、より多くの食料を確保することができます。また、武器や防具の生産・修理をする刀鍛冶・鉄砲鍛冶や甲冑職人たちが敵の攻撃から守ることができ、長期の籠城にも耐えられます。



にしそと
【西外惣構跡】香林坊2丁目街園

惣構跡の段差地形と堀を流れる鞍月用水のせせらぎを活かした緑地に、惣構の説明板が設置されています。

にしそと
【西外惣構跡】升形遺構

城下町へ出入りするための海側の玄関口。堀と土居を外側に突出させた形状となっており、発掘調査等を元に2018年3月に一部が復元整備されました。



ひがしそと
【東外惣構跡】東兼六町

源太郎川との合流地点にあり、当時の石垣を見ることができます。

ひがしうち
【東内惣構跡】枯木橋南遺構

枯木橋は北国街道の東の玄関口。発掘調査で見つかった遺構が復元整備された様子を間近に見ることができます。



※所要時間:約 3 時間 30 分

※バス代:1,040 円(金沢市内一日フリー乗車券購入で 800 円)

詳しくは、金沢市「金沢城惣構跡」パンフレットをご覧ください



SDGs観光モデルコース

「金沢城惣構跡」と「鞍月用水・大野庄用水」を巡る藩政時代の城下町周遊コース

